

岩作30 第57号  
平成30年10月17日

一般社団法人 青森県作業療法士会  
会長 原 長也 様

一般社団法人 岩手県作業療法士会  
会長 藤原 瀬津雄  
第32回岩手県作業療法学会  
学会長 小笠原 康浩



第32回岩手県作業療法学会のご案内

謹啓

時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。また平素より当士会に対しましては、格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さてこの度、一般社団法人岩手県作業療法士会 第32回岩手県作業療法学会を開催する運びとなりました。つきましては、貴会会員の皆さまへ研修会案内の周知をご依頼申し上げます。業務ご多忙の中、誠に恐縮ではございますが、何卒ご高配賜りますようお願い申し上げます。

謹白

記

1. 日 時 : 平成30年11月18日(日) 9:15 ~ 16:50
2. 場 所 : 洋野町民文化会館セシリアホール  
〒028-7913 岩手県九戸郡洋野種市第24地割124-3  
TEL:0194-65-5411
3. テーマ : 「医療から介護そして地域へ」  
～連なろう・携わろう みんなで参加 作業療法～  
※学会の詳細については、別紙をご参照ください

# 第32回 岩手県作業療法学会

日時 平成30年11月18日(日)9:45～16:40(受付9:15～)

学会長 小笠原 康浩(社会福祉法人慈恵会 介護老人保健施設 ユートピア白滝)

会場 洋野町民文化会館 セシリアホール(コミュニティーホール 他)

学会テーマ 「医療から介護そして地域へ」～連なろう・携わろう みんなで参加 作業療法～

## プログラム

9:15～	受付
9:45～10:00	開会式
10:00～11:30	教育講演
11:40～12:40	一般演題発表セッション1・2、卓球バレー大会
12:40～13:40	昼休み
13:40～14:30	一般演題発表セッション3、卓球バレー大会
14:40～16:10	一般公開講座
16:10～16:20	学会表彰
16:30～16:40	閉会式

一般演題発表セッション1	一般演題発表セッション2
1 難病患者への重度障害者意思伝達装置導入に向けた取り組み 盛岡つなぎ温泉病院 八重樫 匠	1 右片麻痺・右半側空間無視症状を呈した脳出血患者に対し、食事動作獲得に向けて右上肢の感覚統合訓練と並行して積極的な歩行訓練を行った症例 盛岡友愛病院 伊藤 真瑠美
2 認知症の既往が無いものの、自宅での転倒に認知機能低下が関連していると推測された事例 岩手県立宮古病院 高橋 右	2 退院支援に難渋した右被殻出血の一事例～環境によってパニックになりやすい事例への介入～ 盛岡つなぎ温泉病院 片島 美香
3 学童野球に関わる指導者・保護者のけが予防の知識調査 岩手医科大学付属病院 佐藤 瞭	3 外出訓練を通じて成功体験を強化し、リハビリに対する意欲向上を目指した症例 東八幡平病院 小林 瑞奈

4 実車評価を行い、気づきを得ることが出来た症例 盛岡医療生活協同組合 川久保病院 田中 利恵	4 右脳幹梗塞を発症した症例に対し両上肢機能訓練を行った事で ADL の向上に繋がった症例 ～更衣動作を目指して～ 盛岡友愛病院 村上 敬
5 いわてリハビリテーションセンターにおける自動車運転再開支援班の活動報告 いわてリハビリテーションセンター 大久保 訓	5 回復過程に合わせたリハビリにより、活動に局限せず、参加を目指すことでできた症例 東八幡平病院 大石 和幸
一般演題発表セッション3	
1 一般乳児を対象とした地域保健事業への作業療法の介入 岩手リハビリテーション学院 田中 弘美	3 全指切断に対し、作業用仮義手を作成し、QOL 改善につながった経験 岩手医科大学付属病院 角原 綾奈
2 母指 CM 関節掌側外転保持装具使用下で集中訓練を行い調理動作が可能となった症例 いわてリハビリテーションセンター 千葉 聖矢	4 日本版感覚プロファイルを用いて感覚の偏りを調査した1例 岩手県立療育センター 村松 海輝

本学会では、当日受付による混雑を緩和する為、Eメールでの事前申し込みを受け付け致します。詳細につきましては下記「学会参加申し込みについて」をご参照ください。

参加費 県外会員 2,000円 当日来場時に各県士会会員であることを証明できるもの(会員証 等)の提示をお願い致します。

- ・参加費支払いは当日となります。
- ・メールの『件名』は「第 32 回岩手県作業療法学会申し込み」としてください。
- ・当日お弁当の販売を致します(要申し込み 500 円/個)。飲み物は各自ご準備下さい。
- ・メール本文に以下の申し込み必要事項をご記入ください。

①所属施設名、②氏名、③県名、④お弁当の有無 を明記お願い致します。

・受付期間平成 30 年 10 月 01 日～平成 30 年 11 月 9 日

\*当日は卓球バレー大会も開催予定となっており、県外の OT の方々と岩手県の OT との対戦も予定されております。一緒にハッスルしてみませんか。

\*NHK の連続ドラマ「あまちゃん」でも紹介された「まめぶ汁」のお振舞を行います。(限定 100 食)。皆様奮ってご参加下さい。

北リアス病院 リハビリテーション科 後藤 明  
〒028-0015 岩手県久慈市源道 12-111  
TEL:0194-53-2323 FAX:0194-53-9085  
Mail: [reh-ot1@kitariasu.or.jp](mailto:reh-ot1@kitariasu.or.jp)

## 第32回岩手県作業療法学会

テーマ：医療から介護そして地域へ

連なろう携わろうみんなで参加作業療法



### 教育講演(10時～11時30分)

テーマ「地域包括ケアシステムに期待される作業療法士を目指して」

講師：紅野 勉 氏

(医療法人池慶会 池端病院 事務部長 (兼) 地域包括ケア推進室長)

資格：作業療法士、生活行為向上マネジメント指導者(日本作業療法士協会)  
介護支援専門員、福祉用具プランナー、福祉住環境コーディネーター(2級)

役職等：福井県作業療法士会：副会長 2013～現在

生活行為向上マネジメント推進プロジェクト(班長) 2015～2018.3 他

医療・介護の分野はそれぞれの専門性を高めて技術やサービスを高度化しており、もはやどの職種も独力では問題解決出来ない。作業療法士は生活機能や背景要因を理解し、適切な医療や介護のサービスプログラムが提供されるまでの過程に積極的に関わるべきであり、課題解決に向けて他職種を支援する視点も必要ではないだろうか。



### 一般公開講座(14時40分～16時10分)

テーマ「災害ボランティアの24年から考える」

講師：渥美 公秀 氏

(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

特定非営利活動法人日本災害救援ボランティアネットワーク理事長のほか、日本グループ・ダイナミクス学会、日本災害復興学会、日本自然災害学会などの役員を務め、多くの社会活動を行っている。東日本大震災後は野田村に大阪大学のサテライトを設置し、震災後のボランティア活動を定期的に行っている



とき

平成30年 11月18日(日)  
午前9時15分～受付開始

ところ

洋野町民文化会館 セシリアホールコミュニティホール  
岩手県九戸郡洋野町種市24-124-3

参加費

岩手県士会員、他県士会員 2000円 他職種の方 3000円

学会申込み先

北リアス病院 リハビリテーション科 後藤 明

〒028-0015 岩手県久慈市源道12-111

TEL:0194-53-2323 FAX:0194-53-9085

締切11/9

Mail: reh-ot1@kitariasu.or.jp (県名・所属・氏名の記入をお願いします)